

➤ **知識と臨床を繋ぐ症例検討**

## **症例検討会④**

～症例から明日に繋がるヒントを探す～

---

- 1. 分析チャートの記入**
  - 2. 問題点の仮説の立て方**
  - 3. 目標設定とは**
  - 4. 評価とアプローチの視点**
- 

**講師：脳外臨床研究会  
作業療法士 山本秀一郎**



# 統合と解釈

## 問題点

歩行ができない

## 現象

<立脚相> 足底接地ー 膝折れ+ 股関節外旋+ 荷重ー 重心の持ち上げー

<遊脚相> 下肢の持ち上げー 振り出しー（外旋・骨盤後継） 足底接地ー うち返し+

## 原因

### 神経要素

- ①運動麻痺
- ②異常筋緊張

### 時間

- ①関節可動域
- ②身体図式
- ③運動プログラム
- ④知覚

+

=

歩行障害

# 現象の優先順位

現象

<立脚相> 足底接地ー 膝折れ+ 股関節外旋+ 荷重ー 重心の持ち上げー

足底接地

が上手くできないために

股関節外旋・膝折れ

が起こってしまう。

それにより

荷重ができず

重心の持ち上げができない

ことにより

立脚相

が行えていない。

足底接地

が行えていない理由は・・・？

# 現象の優先順位

<遊脚相> 下肢の持ち上げー 振り出しー（外旋・骨盤後継） 足底接地ー うち返し+

足底接地

が行えていない理由は

下肢の持ち上げ（ls）

時に

骨盤の後傾

股関節の外旋

が起こるためである。

股関節の外旋

することで

足部のうち返し

が出現し

足底接地

が行えない。

足底接地

が行えないと・・・

# 現象の優先順位

現象

<立脚相> 足底接地ー 膝折れ+ 股関節外旋+ 荷重ー 重心の持ち上げー

足底接地

が上手くできないために

股関節外旋・膝折れ

が起こってしまう。

それにより

荷重ができず

重心の持ち上げができない

ことにより

立脚相

が行えていない。

足底接地

が行えていない理由は・・・？

遊脚相

# 現象の優先順位

<遊脚相> 下肢の持ち上げー 振り出しー（外旋・骨盤後継） 足底接地ー うち返し+

足底接地

が行えていない理由は

下肢の持ち上げ（Is）

時に

骨盤の後傾

股関節の外旋

が起こるためである。

股関節の外旋

することで

足部のうち返し

が出現し

足底接地

が行えない。

足底接地

が行えないと・・・

# 統合と解釈

股関節の外旋+

足部のうち返し

足底接地一

立脚相一

股関節外旋・膝折れ

荷重ができず

重心の持ち上げができない

下肢の持ち上げ (Is)

骨盤の後傾

ぶん回し

股関節の外旋+

# 統合と解釈

なぜ、

股関節の外旋

が起こるのか？

なぜ、

股関節の内旋

が起こらないのか？

原因

神経要素

- ①運動麻痺
- ②異常筋緊張

+

時間

- ①関節可動域
- ②身体図式
- ③運動プログラム
- ④知覚

=

歩行障害



# 統合と解釈

なぜ、

股関節の外旋

が起こるのか？

なぜ、

股関節の内旋

が起こらないのか？

上位運動ニューロン障害なより

運動麻痺

痙性

が起こり

知覚

が起こり

身体図式

が変化し

運動プラグラム

に問題が出現

体をコントロールしたいけどできないため、不動により

関節可動域制限

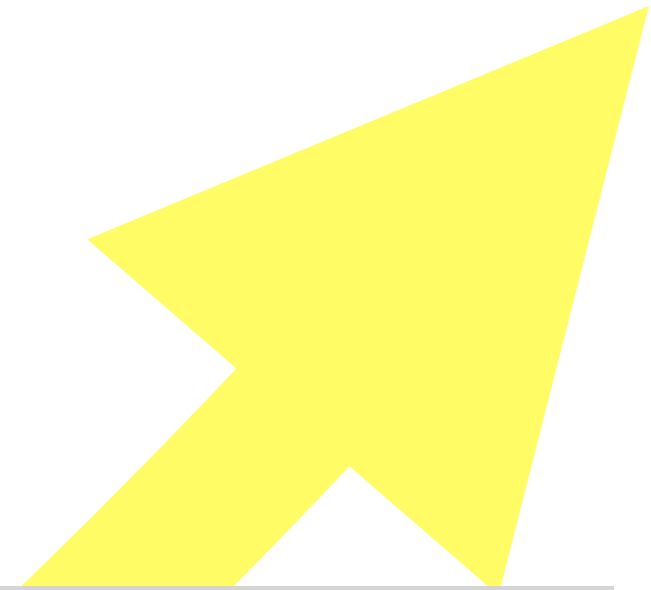
が起こり

股関節の外旋

股関節の内旋

ができないと考える。

# 統合と解釈



歩行ができないのは、関節可動域制限が原因で、股関節内旋ができないことである

股関節の  
可動域練習

関節可動域

足底接地・荷重  
随意運動

知覚  
随意運動

股関節の内旋

身体図式  
プログラムの変更

足底接地

遊脚相  
(Ic)

荷重・立脚相

杖歩行練習

歩行するために

屋内の移動手段